

韓国海軍艦艇沈没事案(10年3月26日)について

1. 事案の概要(韓国国防部発表等)

- 10年3月26日(金)夜21時22分頃、韓国海軍の哨戒艦「天安」(チョナン)が北方限界線(NLL)付近の黄海上を警戒中、原因不明の爆発とみられる事案が発生
- 同艦はその後に沈没
- 乗組員104人中、58人が救助されたが、46人が行方不明(その後の引き揚げにより、40人の死亡確認、6人が行方不明)



2. 韓国政府の対応状況(一般報道等)

- 李明博(イ・ミョンバク)韓国大統領は、事案発生直後から安保関係長官会議を計4回召集(3月26日夜、27日午前・午後、28日午前)
- 3月28日、船体の一部を発見
- 4月4日、本格的な引き揚げ作業に着手
- 4月15日、艦尾部分を引揚げ
- 4月24日、艦首部分を引揚げ
- 現在、米、英、豪、スウェーデンを含む軍民の合同調査団が原因を調査中

現場海域は、水深数10メートルと浅いものの、水温が低く(摂氏4度前後)、また、潮流が速く(時速10キロ前後)海中視界が劣悪なため、搜索・救助活動が難航



引き揚げられた艦尾部分(左)及び艦首部分(右)
(資料源: 聯合ニュースHP)

(参考1) 軍民合同調査団の構成

民間共同調査団長: 尹徳竜(ユン・ドギョン) 韓国科学技術院新素材工学科名誉教授

- 韓国側 : 韓国軍人×22名
民間専門家×25名
その他×3名
- 外国専門家: 米国×15名
スウェーデン×4名
豪州×3名
英国×2名



尹徳竜(ユン・ドギョン)
共同調査団長
(資料源: 一般報道)

合計 : 74名 (この他50~100名の支援要員)

(参考2) ポハン級哨戒艦主要諸元

排水量	: 1,220t(満載)
最大速力	: 32ノット
乗員	: 95名(士官10名)
全長×全幅×喫水	: 88.3m×10m×2.9m
主機	: ガスタービン×1、ディーゼル×2
兵装	: 対艦ミサイル、76mm砲、30mm(又は40mm)機関砲、爆雷、魚雷発射管
備考	: 84-93年にかけて24隻就役。「天安」は89年就役 (資料源: Jane's Fighting Ships 2010)



「天安」の同型艦「原州」(ウォンジュ)

沈没原因に関する調査の現状等について

1. 軍民合同調査団の発表概要(4月25日)

- **内部爆発の可能性は非常に低い**(very low possibility) (弾薬庫と燃料タンクの損傷や内装材が燃えた形跡なし)
 - **座礁の可能性はない**(no possibility) (船底及びソナー・ドームに傷なし)
 - **金属疲労の可能性は低い**(low possibility) (切断面が複雑に変形)
 - **水中爆発の可能性が高い**(high possibility)
 - ・切断面が裂け内側に変形
 - **非接触爆発と判断**(verified)
 - ・爆発による煤煙、熱に溶けた形跡なし
- ⇒ **機雷や魚雷などの武器による可能性はあるが、どのような武器によって爆発が起きたのかについては、もう少し分析が必要**(4月25日記者発表時の発言)

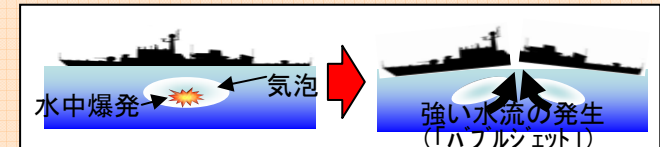


「天安」の艦内構造のイメージ(資料源:朝鮮日報HP)

2. 韓国国防部の発表概要(5月10日)等

【韓国国防部発表概要(5月10日)】

- **魚雷製造に使用される火薬成分であるRDXが検出されたのは事実**
(RDXは、第2次世界大戦から使用された爆薬成分。旧ソ連を含む多数の社会主義国家でも使用。現在は、全国家の軍や産業現場で普遍的に使用。)
- **艦体の切断面から数個のアルミニウムの破片が採集され、この破片が艦体の一部なのか、又は魚雷の破片なのか精密分析中**



各種報道等における「バブルジェット」による艦体破損のイメージ

【金泰栄(キム・テヨン)韓国国防部長官記者会見概要(4月25日)】

- **魚雷によるバブルジェットの可能性が考えられるが、正確な原因はまだ分からない**
- **最終的な調査結果の発表には1か月程度かかる**
(韓国側は、合同調査団の最終調査結果が5月20日をメドに発表されるとしている。)

3. 北朝鮮の反応(4月17日付け軍事論評員論評)

- (沈没原因とされている)「『外部爆発』は間違いなく魚雷によって起こり、その魚雷はわが方の潜水艇や半潜水艇によって発射された可能性が高いという『北関与説』を捏造し、流布している」

(参考) 北朝鮮の保有する潜水艦、魚雷及び機雷について

1. 潜水艦

名称	ロメオ級SS	サンオ級SSC	ユーゴ級SSW
写真			
保有数	23隻	32隻	23隻
排水量	1,830t(水中)	277t(水中)	110t(水中)
全長	約77m	約36m	20m
最大速力	13ノット(水中)	8.8ノット(水中)	8ノット(水中)
航続距離	9,000海里(9ノット水上)	2,700海里(7ノット)	50海里(4ノット水中)
兵装	魚雷(SAET-60、T 53-56の可能性)×8-21 機雷×28	魚雷(T 53-56の可能性)×2/4-21 機雷×16	魚雷発射管×2
乗員	54名(士官10名)	19名(士官2名)、潜水員6名	4名、潜水員6-7名
主機	ディーゼル・電気推進	ディーゼル・電気推進	ディーゼル
備考	攻撃用潜水艦	浸透作戦用。96年9月、韓国の日本海側沿岸で座礁	浸透作戦用。98年6月、韓国の日本海側沿岸に侵入

2. 魚雷

名称	Type 53-56 (旧ソ連製)	Yu-4 (SAET-60) (中国製)
全長	7m	7.8m
射程	8km	15km
炸薬量	400kg	400kg

3. 機雷

名称	M-8	M-12	M-16	M-26
直径	87.6cm	87.6cm	90cm	87.6cm
炸薬量	115kg	TNT火薬100kg	TNT火薬115kg	240kg
敷設深度	6-110m	6-147m	6-366m	6-139m